



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第9号
校長 加藤 浩昭
令和4年6月29日

地域とともにある六中

6月の中旬から月末にかけて、六中の応援団として、様々な場面で学校を支えていただいている皆様との会合が続きました。

◆第1回学校評議委員会：16日（木）

私の方から、今年度の学校経営の重点、日々の学校生活・子どもたちの様子、2ヶ月が経過した時点での成果と課題等について説明をした後、評議員の皆様からご意見、ご助言を賜りました。

◆自治会長の皆様と語る会：23日（木）

本校が良き伝統として取り組んできた「地域貢献活動」のあり方などについてご意見をいただき、また他にも地域での子どもたちの様子などについて、ありがたい情報を頂戴いたしました。

＜令和4年度学校評議員の皆さん＞

小松孝也さん	旭新町自治会長
山口羊一さん	曙町自治会長 女子テニス部コーチ
佐藤伸夫さん	北新橋自治会長・元中学校長
三浦哲哉さん	三栄新聞サービス代表取締役 元PTA会長
阿部直子さん	元PTA会長

＜学校評議員（制度）とは？＞

教育委員会より委嘱された評議員で構成され、委嘱を受けた学校の、経営方針、教育計画等について意見を述べ、より良い教育活動を実現し、社会に開かれた学校づくりに寄与する目的で設置されています。

◆教育後援会理事会：24日（金）

部活動の振興を中心に、本校の教育活動を物心両面から支えていただきありがとうございます。協賛金の御協力を賜っている各自治会の皆様にも感謝申し上げます。

◆地区生徒会：27日（月）

自治会長さんを本校にお招きし、今年度の「地域貢献活動」について話し合い、確認が行われました。自治会長さんからはご助言をいただき「これは期待が持てそう！」と思われる地区がたくさんありました。



協働！

貢献！

それぞれの会でうれしいお話を聞くことができました。

① ひと頃に比べて「あいさつ」がすごく良くなっている。

自治会長の皆様と語る会でも話題になりましたし、学校評議員会でも声がありました。

② 横断歩道などで停車してくれる自動車の運転手さんに、きちんとお辞儀をする生徒が多い。心が温くなる。

教育後援会である理事の方からお話がありました。学区にお住まいの某小学校の校長先生からも同様のお話をいただきました。

六中生が地域を元気に

＜裏へ＞

校長室より②

あいさつとは？

右は岩波新書発行、池上彰氏編集のエッセイ集「先生！」の中の作品の一部です。作者は、平成天皇の心臓手術を執刀した天野篤氏。「挨拶で、少なくとも自分はあなた敵ではありませんよ」と友好の意を表す。あなたを受け入れています。私を受け入れてくださいという気持ちを表す。やはりコミュニケーションの第一歩のようです。



PTA 育成部の挨拶運動の様子

「西日の渡り廊下で」
毎年四月を過ぎると、私が勤務する順天堂大学付属病院も、初期研修医として、また、看護師として入職する新人たちを、数多く迎えることになる。初々しい顔つきをして、なれない人同士で並んで歩き、両手でオリエンテーション用の資料を抱えていることから、すぐにそれと判る。なんとおなく伏し目がちで、私のような者から声をかけられるのを拒んでいるようにも見える。
新人が慣れない環境でうまくやっていく秘訣といえば「挨拶」なのだろう。動物、特に野生の動物は、外敵から身を守るために眼を光らせ、嗅覚や聴覚とともに「視覚」によって生を得ている。つまり、野生の動物にとって「眼が合う」ことは、視覚に捉えた対象を敵または自分のみに危害を及ぼすものとして映し出すことになるので、そこに「攻撃」という防衛本能が生まれると言われている。一方、人間でも通りすがりに「目が合う」ことが多いが、人間だけが「言葉を通じて挨拶を交わす」という所作で、「自分はあなたの敵ではありませんよ」と表現可能なのだ。
通常は挨拶をされればこちらも挨拶して、友好の意を表現するがどちらも視覚・聴覚に捉えてからほぼ反射的に行うことが肝要で、「挨拶」の極意は「分け隔てなく、すぐに」と考えている。

お気に入りの場所

4月から六中にお世話になっていますが、いくつもお気に入りの場所ができました。緑豊かな中庭や学校の周りの遊歩道。ちょっと校地を出ると新井田川の土手。特に夕方の景色は気持ちを落ち着かせてくれます。校舎2階、3階の廊下からは、鳥海山の美しい山容を手取るように見ることができます。他にも様々ありますが、私のお気に入りの場所の一つは図書室です。

まず選本が素晴らしいと思います。思わず手にとりたくなる本がたくさんあります。私も4月から何冊か借りて読んでいます。子どもたちが興味を持つような話題の本や人気の作者の本もたくさん入っています。文庫本は作者ごとにまとめられ、お気に入りの作者の本を探すのも容易です。また、時事的な出来事や、特定の分野を取り上げた特設のコーナーを見るのも楽しみです。先日まではウクライナ情勢を受けて戦争、国際紛争に関するコーナーがありました。生徒会がSDGsへの取り組みを重点の一つにするという動きを受けて、関連本のコーナーもあります。昨日は7月11日に投開票が行われる参議院選挙に合わせて、選挙に関する本のコーナーが設置されていました。

六中生に図書館に足を運んで欲しい、様々な本と出合って欲しい、そんな願いをもって図書室の運営を頑張ってくれているのが図書専門員の吉野さんです。本校勤務13年目。最も六中をご存じの方かもしれません。

昨日、図書室を訪れた時、吉野さんにお聞きしてみました。

「六中生の貸し出しの状況はいかがですか？」「他校も同じ傾向がありますが、学年が進むにしたがって貸し出し冊数は少なくなります。個人差も大きいです」とのこと。教室を回ってみると隙間時間を上手に使って本を読んでいる人を見かけます。

部活動が一段落する3年生。ゲームやYouTubeにかなりの時間を費やしているみなさん。時間を上手に使って「読書の時間がある1日」を過ごしてほしいと願っています。

